

●今年度進捗点検を実施した中で委員からいただいた主な意見

◇今年度の内容をみても、審議対象の項目が多く、審議の方法を見直すべき。

◇本来は各項目を網羅的にひとつひとつについて点検を行うべき。

◇全体を3分割して、3年で1周のローテーションという案や、3年分をまとめて評価する案などが考えられる。

◇近畿地方整備局による点検は毎年行うが、委員会の審議はその中の一部という案も考えられる。

●平成25年度以降の進め方

◇河川管理者は毎年進捗点検を実施し、報告書を取りまとめる。

◇審議対象項目を絞り込み、各項目を幅広く点検するために、各年度の審議を分野や河川毎に分けて複数年度で進捗点検を実施する。(3年程度)

案①: 河川毎に分けて3年ローテーションで進捗点検を実施する。

1年目 淀川・宇治川・琵琶湖

2年目 木津川下流・木津川上流

3年目 桂川・猪名川

案②: 分野毎に分けて3年ローテーションで進捗点検を実施する。

1年目 治水・防災・危機管理

2年目 河川環境・利水・利用

3年目 人と川とのつながり・維持管理